



ホームページアドレス  
**かんもん** <http://homepage3.nifty.com/ne/kk/>  
**北九州ファンクラブ**  
**【第77号】2009年9月1日発行 隔月刊**  
 会報委員長 〒104-0054 東京都中央区勝どき 6-3-1-5813  
 TEL&FAX:03-6794-0288/isamu\_ohki@jcom.home.ne.jp 大鬼諫

※本会の正式名称は【北九州ファンクラブ】ですが、本会の別名及び会報の名称は【かんもん北九州ファンクラブ】です。

**ミニ講演会 「ブッシュからオバマへ」 / 私の見たアメリカ**

講師：小浜正幸 米国大統領が共和党のブッシュ氏から民主党のオバマ氏へ代わり、米国の政治は勿論、  
 (会員) 世界と日本にも影響が大のようです。今月の講演は、日本企業の社員として米国に長らく  
 駐在され、ブッシュ氏とも親交のあった小浜氏に掲題のお話をお願い致しました。  
 担当：佐伯雅啓 多数の皆様のご参加をお待ちしています。 会員以外の方の参加も自由です。  
 (ところで講師はおばまさん!? 興味津々)  
 日時：2009年 9月10日(木) 18:00~19:00 19時以降は情報交換を兼ねた懇談会。  
 会場：「九州工大鳳龍クラブ」 港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館5階 (Tel: 03-3572-2009)  
 会費：無料。 どなたでも出席できます。 20:00頃より近くの居酒屋で実費の懇親会を行います。

**第17回 史蹟散策会のご案内予告**

担当：大鬼

現在第17回史蹟散策会を「関東の倉敷=栃木の散策、陸の松島=太平山の紅葉」と銘打って下記の通り企画中です。古代から中世までの歴史スポットの多さに感動される筈です。  
 詳細は次号でご案内申し上げますが、貸し切りバス利用の都合上先着40名様と致します。万障繰り合わせて参加下さいますようお願い申し上げます。  
 案内役はいつもの美作ゆう子先生です。

記  
 日時：11月28日(土)  
 主たる散策先：栃木県南部 (足利市 佐野市 岩舟町 栃木市 小山市 etc)  
 集合：東京駅付近 交通：貸切バス利用  
 予約申し込み受け付けます。(前田 or 大鬼まで)  
 ◎当日は集合時間が通常より早目にセットされますのでご注意願います。

**会報【第77号】目次**

02頁 「九州の秋~あなたは観る(?) 味る(?)」	川原俊成	03頁 豊田町道の駅「螢街道西の市」	中村雅記
04頁 「小倉、北九州ファンクラブへの思い出」	安田育代	04頁 「デラシネにとって故郷とは」	山村政彦
05頁 「関門北北九州とのご縁」	新井悦郎	05頁 「後輩との再会を通じて思った事」	衣笠正人
06頁 ミニ講演会報告「成年後見制度」	鬼塚信子	07頁 第21回歴史講演会報告「松本清張」	伊勢本嗣治
08頁 古い写真	前田昌亮	09頁 暑気払い報告	井崎淳一郎
10頁 よろず案内	若松秋桜会 代表 久永恵美子	小河 佐伯	
11頁 よろず案内	新型インフルエンザ対策 古谷信	大鬼	
12頁 よろず案内	結城 ひろば北九州より	「会報」「名簿」担当の交代挨拶=杉原 長崎 大鬼	

**新入会員紹介**

(09年4月20日~09年7月29日)

下記の方々が入会されました。各種会合・行事への参加にお誘い下さい。(紹介者)  
 住田直伸 (HPより) 北原孝吉 (利重盛久) 高藪紀子 吉川文 (大鬼諫)  
 ※最近高齢による退会者が漸増しています。新入会者紹介も併せてお願いします。

**転居された方は至急「新住所」をお知らせ下さい!**

経費節減のため「会報発送」に「メール便」を採用しています。郵便局へ新住所への転送願いを届けていても「メール便」は転居先不明として事務局へ返送されます。事務局でこれまでの記録から探していますが、不明の場合は退会扱いとなります。転居された方は必ず「新住所」を「事務局」へお知らせ下さい!

# 北九州の秋 ~あなたは観る?味る?

秋の野に咲く代表的な七種の草、秋の七草。

萩（はぎ）・尾花（すずき）・葛（くず）・撫子（なでしこ）・女郎花（おみなえし）・藤袴（ふじばかま）・桔梗（ききょう）、万葉集で山上憶良が詠んだ歌では、桔梗のかわりに朝顔が入りますが、この朝顔も桔梗といわれています。

このうち、すずきといえば、おぼんにきれいに盛られたお団子、お月見ですね。古来、十五夜に、お団子のほか、芋・枝豆・栗などを盛り、新酒を供え、はぎやすずきなどの秋の草花を盛って月を祭ったそうです。

わが街でも、実りの秋を迎えます。皆さんは、十五夜お月さんのこの季節、どう楽しみますか。

## 観る 味る

### ◇ 白い岩と黄金色のススキ

この季節の平尾台といえば、やはり、ススキ。

おだやかな秋の陽を浴び、黄金色に輝くススキの穂が秋風になびく姿は、北九州の秋を代表するものです。

また、この季節ならではのというのが、夜の草原。心地よい夜風になびくススキの穂は、月明かりのもと、銀色になびきます。

月明かりに照らされた羊群原とススキの穂は、風が奏でる音とともに、そこを訪れた者を幻想的な世界に導きます



### ◇ 秋空を彩るもみじ

昨年広報室が発行した刊行物に紅葉の写真に掲載したところ、たくさんのお問い合わせをいただきました。その場所は、河内藤園。河内貯水池の西側にある同園は、約22種110本の藤で有名ですが、紅葉の名所でもあります。



### ○ プリプリのたこを召し上がれ

お刺身、しゃぶしゃぶなどなど、かめばかむほど旨味が増す「関門海峡たこ」。

そのおいしさの秘密は、関門海峡の早い潮流に負けないよう、岩にしがみつき鍛えられて育った太くて短い足とその足の先までついている吸盤のコリコリ感、活きがよくきゅっと引き締まった身にあります。

いまや新しい北九州ブランドの地位を確立した「関門海峡たこ」を市内の飲食店が、腕によりをかけて提供する「関門海峡たこフェア」が今年も11月下旬に開催されます。機会があれば是非、ご堪能ください。



### ○ 一度に堪能するなら・・・

「関門海峡たこ」「豊前海一粒かき」「小倉牛」「若松キャベツ」「大葉しゅんぎく」をはじめ、北九州ならではの旬を一度に堪能できるのは、秋の恒例イベントである『北九州市農林水産まつり』。

今年も、11月21日（土）と22日（日）に、北九州市立総合農事センターで開催されます。3連休にかかる週末、ふるさとの食の秋がお勧めです。



※おことわり … 見出しや本文中、語呂あわせで、「味覚」、「食」、という意味あい「味(み)る」とさせていただきます。

# 豊田町道の駅「蛍街道西ノ市」の近況

駅長 中村 雅 記

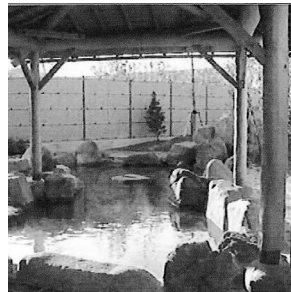
下関市豊田町道の駅「蛍街道西ノ市」です。  
平成16年12月14日に、山口県内17番目の道の駅として開業し、これまで多くのお客様を山口県内外からお迎え致しております。

当道の駅「蛍街道西ノ市」は、良質な天然温泉（ナトリウム炭酸水素塩冷鉱泉）と魅力ある商品並びに日曜日毎のイベント開催により、開業から2年11ヶ月24日目に、西ノ市（ニシイチ）のゴロ合わせであります。241万人目のお客様をお迎えすることが出来ました。さらに、平成19年度は、初めて80万人を突破しまして、804,414人のお客様がありました。

なお、400万人目のお客様をお迎えするのは、今年の12月になる見込みです。



やぐら万作



露天風呂

また、旅情報誌「じゃらん」の道の駅ランキング（中国部門）で、18年度は4位、19年度は3位を獲得するなど、名実共に中国地方を代表する「道の駅」になりました。

## 1 イベントについて

(1) 毎月第1日曜日は竹とんぼ作り、第2、第3日曜日は占い、多肉植物の寄せ植え、24日（ゴロ合わせニシ）の日は、温泉入浴料大人650円のところを500円に、14時から餅撒き（お楽しみクジ付き）を実施しています。

(2) 春季は、梨の花ウォーク（梨の花を愛でながら歩く）10キロコース、20キロコース、・夏季は、丸太切り競争、ソーメン流し、クワガタ、カブトムシ、鈴虫の展示プレゼント・秋季は、梨クイズ大会、梨の皮むき競争、・冬季は、椎茸コマ打ち体験を実施しております。

又、芸能イベントも随時実施しており、前記イベントと合算するとほぼ日曜日毎にイベントを開催し、好評を得ております。

詳細は、HPをご覧ください。

<http://www.toyota-hotaru.com/index.html>

## 2 地域とのふれあい

(1) 子ども園、保育園

豊田町には一つの子ども園と二つの保育園がありま

す。この園にお願いして、毎月テーマを決めて作った園児の作品を、情報コーナーに展示しています。道の駅を訪れるお客様は、園児の作品を見て「ああ～癒される」と園児の作品に感動しています。

## (2) 八幡太鼓子ども会

一時途絶えていた豊田町西八幡宮の奉納太鼓は、子ども達を中心に復活したそうです。この八幡太鼓子ども会は、春秋の道の駅のイベントに参加。心地良い太鼓の響きは、お客様に大好評です。

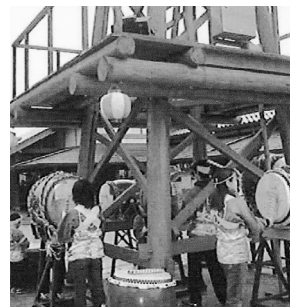
## 3 レストランの営業

豊田町など下関市の食材を使用した、「ランチバイキング料理」の営業を、平成20年12月19日から開始したところ、「初めて、ここのバイキングを戴き、心身共に喜んでおります」などと有難いお言葉を戴きました。

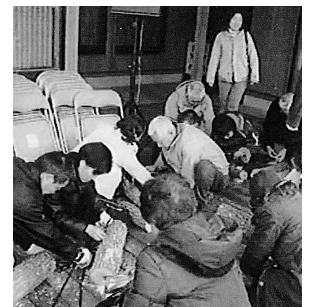
毎月24日は寿司の日とし、ちらし寿司を、29日は肉の日とし、豊田牛などの牛肉、イノシシ肉料理をお出して、好評を得ております。

## 4. 新商品の開発

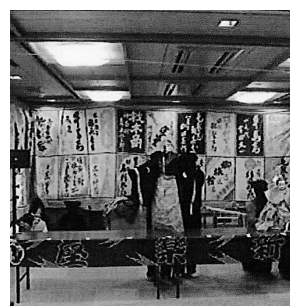
豊田町特産品の、梨を原料とした「梨ワイン」、「焼き肉のタレ」、「梨酢」、イチゴを原料とした、ジャム「いちごいちえ」、さらに、道の駅温泉「蛍の湯」の源泉を使用した化粧水「ほたるミスト」も好評発売中です。これからもイベントの開催及び豊田町の特産品を原料とした、商品の開発を実施し、地域の活性化とお客様が感動する、道の駅作りを目指して邁進します。



八幡こども太鼓



椎茸コマ打ち



人形浄瑠璃



七夕と園児たち



昭和23年1月、小倉市鑄物師町九州電力大門発電所の社宅に入居。終戦後、大連から引き揚げてきた私たち家族は住まいを転々と移してしていたので、やっと落ち着いて住める幸せと安堵感を覚えた西小倉小学校1年3組に転入して数日後の大雪の日、校内火災で緊急下校になった。

私はパニックになり頭の中は真っ白。大慌てで学用品を鞆にも入れず手で抱え、下駄も履かず、泣きながら帰った。学用品は通学路にバラバラと落ち、家に着いた時には空っぽの鞆と下駄を手を持っていたのだった。翌日登校すると、失くした学用品が机の上にきちんと置いてあった。電車の運転手の方や通りがかりの方が一つ一つ拾って届けてくださったのである。西小倉小学校、思永中学校、小倉高校の12年は、私の幼少、思春期の尊い思いが一杯詰まっている。日明海岸で誘拐されそうになったり、田畑の溜め池に落ちて全身泥まみれになったりした。日明や到津の八幡様川や海辺で植物採集をしたこと。思い出はつきない。和布刈神社では、平家物語に思いを馳せ、落人の墓によく行った。耳なし芳一の墓にも。赤間神宮の宮司さんは、元大連神

<会員からのメッセージ>

### 関門北九州とのご縁



私は関門北九州の出身ではありませんが、これまでの人生で少なからぬご縁を感じております。寄稿のお誘いにより僭越ながら幾つかの拙い思い出話で紙面を汚させていただきます。昭和15年小学校2年の時、父に伴われて亡祖母の法事で群馬県の父の郷里を訪ねたことがありました。

佐賀から門司まで汽車、連絡船で関門海峡を渡り、下関から東京、群馬まで又汽車と生まれて初めての長旅でした。海を渡るとはまるで外国に行くような気分でした。連絡船の汽笛の音、下関で食べたチキンライスの美味しかったこと、夕暮れの小高い公園を散歩したこと、駅のプラットフォームに停まる特急列車の富士山のシンボルマークに心が躍ったこと、等鮮明に覚えております。帰りの記憶は全くありません。群馬や東京の印象が余程強かったのでしょうか。関門とのご縁の始まりです。

昭和20年中学1年の時、敗戦の夏福岡市に転居しました。ひどい食糧難で、長男の私は口減らしに学校の休暇は全て母の実家の大分の田舎で過しました。学校が始まり福岡に帰る日が来ると叔母さんが

安田育代（小倉高1960年卒）

社の宮司さんで偶然にも弟や従兄弟の名付け親だった方であった。下関の市場にも母とよく行った。新鮮な魚を食べていたので、上京後しばらくは魚が食べられなく苦勞した。

北九州ファンクラブに入会したきっかけは、小・中・高と同級生だった井生さんの兄上が青春座を率いて東京公演をするというので、駆けつけたことだった。井生さんの長兄の奥様が、私の妹の担任だったというご縁もある。主人の甥が渋谷区議会議員に立候補した折には、大前研一さんの平成維新の会に所属していたこともあり、杉原さんに励ましをいただいた。おかげで甥は、3期12年議会で活躍した。昭和35年高校卒業と同時に上京。その年に母が、続いて父が亡くなり20歳の私が一家の柱になってしまった。厳しい生活環境にあったのだが、くじけそうになると何処からか声をかけていただき、「はっ」と我に返り、また生き直す。同級生、同期生、先輩、後輩、北九州ファンクラブの集いが、いつも私を優しく温かく見守り、元気を与えてくれ、育てくれた。故郷が生きる勇気と励ましを与え支えてくれたのだと思う。疲れた心を癒してくれる場がある。そうした人々が周りにいるということは幸せなことで、故郷は「遠くにある」のではなく、すぐそこ、そう、「ここにある」のだった。

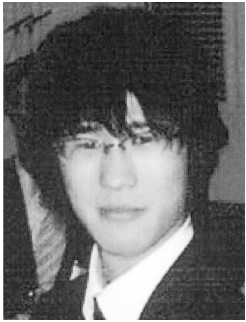
新井悦郎（福岡高1951年卒）

都会は大変だからと米や小豆、大豆から味噌までリュックに詰めこんでくれます。それは有難いのですが、帰途の警察の取り締まりを思うと気が滅入りました。幸い私の場合は中学生へのお目溢しでしょう、事情を聞かれるだけで開包も求められず、一度も没収されずに済みました。ですが、大人達が次々に調べられ、自らも米を持つ身で、オッカナイ警官の前に立たされた中学生の不安と緊張感は例え様がなく、小倉駅と日豊線の怖い思い出は消え去ることはありません。社会人かけだしの頃、昭和30年から5年半余筑豊田川市の炭鉱で働きました。当時田川市は人口10万の活気ある街でしたが、小倉とは比較になりません。私共独身寮生は休日にはバスで1時間の小倉へ出て文化的雰囲気を楽しんだものです。門司の和布刈公園や関門トンネルを歩いて下関の街や彦島まで足を延ばしたこともあります。今の家内が他人でスマートだった頃関門の街や自然と一緒に歩いたのも懐かしい思い出です。

現在敬友前田昌亮さんのお誘いで当ファンクラブ「歴史を楽しむ会」に、又美作ゆうこ先生の「美史の会」に夫婦で参加させて頂き、歴史散策を楽しみながら、半世紀を経て今に続く関門北九州とのご縁を「縁は異なもの、嬉しいもの」と有難く感謝しております。

## 後輩との再会を通じて思った事

衣笠 正人 (小倉商2007年卒)



私が高校卒業と同時に上京して3年目になります。入学式の日中央線快速の混み具合に怯んでいた間に、友人達から御茶ノ水駅に置いて行かれて立往生したのもつい最近のように思えます。

しかし先日、私にとって時間の流れを感じさせる出来事がありました。

母校である小倉商業高校から3歳下の後輩が情報処理の全国大会へ出場するために上京してきたのです。

大会の応援にこそは行けませんでした。大会の後には後輩と会って話をしました。大学への進学を考えているという事、お金の事情であまり多くの選択肢はないという事、そして大学とはどのような場所であるかという事。私が高校3年生の時に悩んで考えていた事を目の前の後輩が同じように悩んでいたのです。

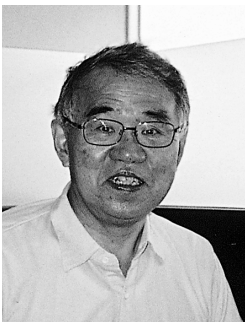
私が金銭的な支援をするということは到底出来ません。ですが私が2年と4ヶ月の大学生活で知り得た事を伝えました。彼にとって私の言葉がどのように影響したのかは分かりません。けれどもこれが自分に出来る最大の事であったと信じるばかりです。そして後輩

と話をするという事は私にとっては今までの自分を振り返る良い機会となりました。なぜ私は両親に懇願し地元を離れ東京へ出てきたのか。その答えとして東京という大都会への憧れやより優れた学習環境で学べる機会を得られるという事、そして多くの人との出会いをして見聞を広めたいという思いを振り返らせてもらいました。

現在の私は多くの機会に恵まれ、多くの方々との出会いを経験することができました。かんもん北九州ファンクラブにこうやってメッセージを書かせて頂いているのも私が恵まれている証拠であると思っています。しかし多くの同郷の学生はこの会の事を知らずにいることを思うと残念でなりません。大学という狭い世界で就職活動のために努力をしそのまま社会へ出て行く前に、多くの先輩方と話をすることで、物事を様々な角度から広く見る力も養えると思うのです。そこでもしも現役の学生と会う機会を持つ方や母校へ顔を出す機会がある方は、会の存在を知らない人に教えてあげてほしいと思います。会の存在を知る事で若い後輩にどのような影響があるかは分かりません。けれども新たな出会いが何かしらの実りをつけると思うのです。

## デラシネにとって『ふるさと』とは？

山村政彦 (下関西1960年卒)



昭和35年4月に故郷下関市彦島西山を離れて、略50年を経てしまった。この年齢に成ると多くの人々は『ふるさとへの恩返し』や『ふるさととの絆』等故郷との関係にノスタルジアを感じている様に思える。

両親の墓は同じ西山に有るが、私は下関を出る時に大志を抱

かなかったのかデラシネを覚悟した為に故郷に戻る考えは当初から持っていなかった。

仕事上も石油開発の宿命か、各地を転々として、退任後の現在は福島県の片田舎に約10年間住んでいる。

正に室生犀星の言った『帰る所にあるまじや』に成ってしまった。三人いる私の子供達にも、私が各地(テヘランやテキサス等を含めて)を転々とした為に『ふるさと』と言えるところは無い。

それはそれで良いと思っている。

しかし、語学に弱い私は幼年時代に過ごした下関の方言が抜けていない。時に法事等で姉兄弟が集まると自然と方言で話している。そういう意味で『ふる

さと』と自分を結びつけているのは方言なのかも知れない。面白い事は、語学が得意でない私はその後ペルシャ語やテキサス語を含めて学んだが、その地に住んだにも係わらず、あまり話したり、書いたり出来ない。仕事上10年弱単身で携わったサハリンでは、ロシア語が好きでなかったので学んでいない。ロシアが自由化したこの時代に成って後悔している。

高校を卒業する時、恩師に生徒全員が日和山の高杉晋作さんの像の前にお参りさせられた。私は彼が期待した様に英傑には成らなかった。しかし英傑の定義は何で有ろうか？広辞苑では『才知の優れて人、英雄、豪傑』である。別の辞典では『優れた事業をする人』になっている。私はそのどちらの定義にも当てはまらない。しかし私は晋作の『負ける戦はない』主義をその後の人生で貫き通している。

この二点即ち『方言』と『高杉晋作の主義』を守っている事で、デラシネではあるが、『ふるさと』と自分を結び付けているのかもしれない。因みに私の本籍は下関市彦島西山にあるが、墓は千葉県袖ヶ浦市の建てている。

とりあえず袖ヶ浦の土に成るつもりである。

(編注：デラシネ＝フランス語で祖国を離れた人・転じて根無し草の意)

## 講演：あなたは「成年後見制度」をご存じですか？（講師：鬼塚信子氏）の報告

「第21回ミニ講演会」2009年7月9日 於東京／新橋・九州工大鳳龍クラブ 司会・記録 佐伯 雅啓

2000年に介護保険制度と同時に発足した成年後見制度は誰にも身近で重要なものですが、あまり国民に知られておらず、普及も極めて遅い。今回、豊富な事例資料等を使い解説された内容の要旨です。

**【成年後見制度の目的】** 認知症や知的障害などで判断能力が不十分な人は、不動産や預金などの資産管理、介護サービスを受ける契約、施設への入所の契約、遺産相続協議などが自分では一般に困難で、悪徳商法の被害にあうおそれもある。このような社会的弱者を、本人の意思を尊重しつつ、保護、支援することが本制度の目的であり、1) 任意後見制度と、2) 法定後見制度の二つに大別される。

**【任意後見制度とは】** 本人が十分な判断能力がある内に、判断能力の低下に備えて、自ら選んだ代理人（任意後見人）に、自分の生活、療養看護や財産管理に関する事務について代理権を与える契約（任意後見契約）を、公正証書で結ぶという制度。

本人の判断能力が低下した後に、任意後見人が前記の事務について、家庭裁判所が選任する「任意後見監督人」の監督の下で本人を代理して契約等を行い、適切な保護・支援をすることが可能になる。

**【法定後見制度とは】** 本人の判断能力の程度により「後見」「保佐」「補助」の三つの制度の何れかを利用できる。家庭裁判所が選ぶ成年後見人等（後見人・保佐人・補助人）が本人の利益を考えつつ、本人を代理して契約等の法律行為をしたり、本人が法律行為をするときに同意を与えたり、本人が同意を得ずにした不利な法律行為を後から取り消すことにより、本人を保護・支援する制度。申立てできる人は本人、配偶者、四親等内の親族、市町村長。

適用については詳細な規定が定められている。

**【成年後見人等を選ばれる人】** 本人の事情に応じて、家庭裁判所が選任する人は、本人の親族以外にも法律・福祉専門家その他の第三者や福祉関係の公益法人等の法人も可能。成年後見人等を複数選ぶ事も可能。成年後見監督人が選ばれる事もある。

**【成年後見人等の役割】** 成年後見人等は、本人の生活・医療・介護・福祉など本人の身の回りの事にも注意しつつ（身上配慮義務）本人を保護・支援する。成年後見人等の職務は本人の財産管理や契約などの法律行為、手配に限られ、食事の世話や介護作業などは一般的に成年後見人等の職務ではない。成年後見人等はその事務について家庭裁判所に報告するなどして、裁判所の監督を受ける事になる。



会場に満員の聴衆と

鬼塚講師



### 【或る事例＝任意後見監督人を選任した】

- ・本人：75歳の男性。脳梗塞による認知症が発生
- ・任意後見人：本人と同居の長女（44歳、主婦）
- ・申立ての動機：アパート管理などの後見が必要
- ・任意後見監督人：弁護士
- ・概要：本人は自己所有アパートを長年管理していたが、判断能力低下に備え、2000年に長女との間で任意後見契約を結んだ。数ヶ月後、本人は脳梗塞で倒れ、麻痺と認知症が現れ、アパート所有も忘れる状況。そこで任意後見契約の相手方・長女が任意後見監督人選任の審判を申立て、家庭裁判所は審理を経て、弁護士を任意後見監督人に選任した。長女が任意後見人として、アパートを含む本人の資産管理、身上保護に関する事務を行い、それを後見監督人の弁護士が定期的に監督するようになった。

### 【成年後見制度利用に必要な費用】

- 1) 任意後見契約公正証書作成では、
  - ・証書作成基本手数料 11000円
  - ・登記嘱託手数料 1400円
  - ・登記所納付印紙代 4000円など
- 2) 法定後見開始の審判申立てに必要な費用
  - ・申立手数料／収入印紙 800円／基本。条件で増加
  - ・登記手数料／登記印紙 4000円
  - ・医師の鑑定料（約10万円以下）
  - ・他に戸籍謄本、連絡用郵便切手の費用など

### 【成年後見制度利用の手順、必要期間】

- ・申立て⇒ 審理⇒ 法定後見開始の審判、後見人等の選任⇒ 審判の確定（法定後見の開始）
- ・個々の事案で必要期間は異なるが、上記の合計で4ヶ月以内。これは短縮されつつある。

**【その他の参考事項】** 相談窓口は各市町村の地域包括支援センター、全国の弁護士会・司法書士会、全国の家裁裁判所。申立てに必要な書類は家裁で教えてくれる。各窓口で本制度についての分かりやすい資料を入手できる。法定後見制度利用に必要な費用を助成する自治体もある。成年後見制度は法務省民事局の管轄。（多数の質疑応答は省略した）

「松本清張の生涯と業績及び松本清張記念館事業について」 レポーター伊勢本嗣治

講師：中野吉朗氏 北九州市立松本清張記念館 副館長

日時：6月18日（木）（18：00～20：00）

会場：新橋ニュー新ホール

松本清張生誕百年を記念しての講演会は興味をもたれた初参加の方も大勢おられ、清張さん自身の履歴が関門海峡を跨いでいることもあり、充実した2時間と講演後の懇親共々深夜まで余韻に浸った一日でした。

【はじめに】

清張さんは明治42年12月21日企救郡板櫃村に生まれました。今年は生誕100周年の節目である。前半生を小倉で過す。板櫃尋常高等小学校を卒業後職業紹介所を通じて川北電気出張所の給仕に就職、月給11円、15歳。文芸書に親しむ。出張所閉鎖により失職、親の「手に職を」により広告版下を勉強。小倉に進出した朝日新聞西部本社の嘱託として入り、出征前に正社員となる。昭和25年週刊朝日の応募作「西郷札」が3等に入賞、賞金10万円を得る。昭和28年1月、「或る『小倉日記』伝」が芥川賞受賞、44歳。前年三田文学に載り当初直木賞候補（だった。12月東京本社に転勤。以後数々の分野の作品を発表、国民的作家となる。平成4年8月4日肝臓癌で死去、享年84歳。

【松本清張記念館】

記念館は7回忌の平成10年8月4日開館、城内の一郭にあり昨年12月で来館者は90万人、年間6万人だが本年は何とか100万人を目指す。博物館法により北九州市教育委員会所管。館員は8名。

昨年、清張さんも受賞された「菊池寛賞」を受賞。藤井康栄館長は文芸春秋から週刊文春編集者として昭和38年から清張没年迄30年間「清張番」を努め代表作「昭和史発掘」では資料収集、取材協力。松本清張全集全66巻の編集担当。清張さんの思いを理解した第一人者でしょう。記念館建設の企画段階より関与。著書に「松本清張残像」がある。

【記念館のコンセプト】

- ① どういう仕事をしたか ② どういう風に時代と関わり人生を全うしたか ③ どういう環境で仕事をしたか ④ どういう発想で仕事をしたか。

展示室1（松本清張の世界）

700冊のパネル→量で圧倒。東大寺礎石→本物、昭和30年代古代史ブームの頃購入。

作品系統図→推理、古代史・現代史の「空白を埋めて謎を解く」が清張の一貫した姿勢。

清張とその時代→推理劇場、清張全仕事、系譜を22メートルのパネルに。

展示室2（思索と創作の城）

再現家屋（玄関・応接室・書斎・書庫）は清張さんの戦場、独立した静かな場所の観点よりドーム構造に納める。斜面台を載せた机、

3万冊の蔵書。

【記念館の運営】

作家松本清張らしく運営する事。清張さんは勤勉で、お休みが大嫌い。「自分は努力だけはしてきた」と書き遺し、最後まで知的向上心を持ち仕事を続けた。記念館も年末の三日間の大掃除（燻蒸）を除いて年間362日無休。そして新しい研究テーマで研究誌を発行、あるいは企画展を続けている。

研究誌は毎年、現在10号2009まで発行。手作りの企画展は、①清張文学の羽ばたき ②清張と鴉外 ③時間と習俗 ④清張文学の土壌 ⑤新たなる飛翔一点と線のころころ などである。

企画展は資料を含め新しい発見がなければ意味がない（藤井館長）。これこそ清張魂であろう。

清張自身常に第一級資料を求め、且つ手垢のついていない新鮮な資料を渉猟した。

【自伝的作品と清張略年普】

- ①「半生の記」貧乏をテーマに父峯太郎を追想。

父峯太郎は鳥取県矢戸村の田中家の長男として生まれ、米子の松本米吉、カネ夫妻の養子となる。1962年東京で死亡、89歳。

- ②「雑草の実」母、タニの回想

母、タニ 旧姓岡田、廣島生まれ。峯太郎が廣島にいた頃結婚。1955年東京で死亡、77歳。

- ③「骨壺の風景」祖母、カネの回想

祖母カネ 1931年小倉で死亡、83歳。

生後2ヶ月くらいの縫いぐるみの写真の裏に父の文字で「清治」とあり撮影者小早川圭風 廣島京橋とある。姉が二人いたが共に嬰兒のうちに死亡。清張生誕、廣島説の根拠であろうか。

＝この後 記念館を訪れた作家阿刀田高、森村誠一、古川薫らと清張さんとのエピソード披露と「砂の器」の亀嵩と矢戸の地理的説明がなされ質疑応答。

清張ファンの一人として、藤井館長さんのご高話を伺う機会を切に願う次第である。 以上

<出席者名はP11に掲載>



[担当：前田昌亮]

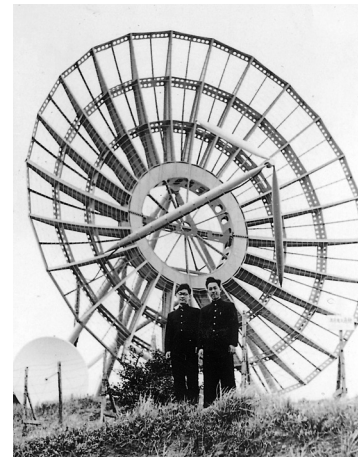
今回は、昭和42年(1967)に高校を卒業された18人の方々にご協力をお願いしましたが、残念ながらご提供がありませんでしたので、今まで収録できずにお預かりしていた分を収録致しました。

**1. 高橋俊夫氏 提供：**



左側は、高塔山より若戸大橋を望む。橋が開通(昭和37年：1962)して間もない頃の写真かと思われる。写っている高塔山ロープウェイは、昭和45年(1970)に運休廃止された。右側は、明治34年(1901)に建築されたごんぞう小屋：港での石炭荷役をする沖仲士(ごんぞう)が待機していた海岸通りにあった小屋、現在は復元されている。「若松今昔」(芳野俊昭氏著より)

**2. 佐伯雅啓氏 提供：**



2枚とも昭和32年(1957)4月9日、52年前に友人と一緒に撮影した写真です。左側は、工事中の関門国道トンネルの門司側入り口で。右側は、門司の風師山山頂で、直径10m(?)の巨大なマイクロウェーブのパラボラアンテナの前で。本人は2枚とも向って左側。

\*[担当より] この〈古い写真〉の欄は収録21回目に及んでいますが、今回始めて読者の織田一嘉氏から次の様な感想文を頂きました。担当としては反応があったことに感激しています。有難う御座いました。

“毎回掲載される一連の「古い写真」は、私のような老人会員にとって、一段と郷愁をつのらされます。「あの時代は良かった」の言葉には反論も御座いましょうが、そこには人情が、そして道徳がありました。現在と余りにも格差があり過ぎますが、懐かしさだけでも充分です。前号の石井明義様ご提供の、元「巡査」おまわりさん時代の署長集はお宝物です。アインシュタイン夫妻門司来訪の写真は、現在も門司港駅二階の応接室に保存されております。”

\* [織田一嘉様の感想について] 人情や道徳を過去の郷愁の中に置く遺物でしょうか。日本人の良さの一つだった筈です。現在が異常なのでは? これからも徳育を高めるように努めたいと思います。

「古い写真」をお持ちの方は、卒業年次に関わりなく是非送付して下さいようご協力をお願いします。

このコーナーに対する反応からも有意義だと実感しています。各自にとっては陳腐と思われるけれども第三者が見ると感動を呼ぶものがあるのです。

<送付先>： 前田昌亮 〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘64-6 Tel/Fax 045-864-7262



## 2009年暑気払いご報告

(かんもん北九州ファンクラブ会員の集い)

レポーター：井崎淳一郎

8月4日 いつもの新橋駅前ビル1号館所在の(社)明専会東京センター九州工大鳳龍クラブ(同窓会事務所)では、北九州ファンクラブの集いの横断幕、祭りのポスターとGreen Frontier(環境モデル都市北九州市)の法被が待ち受けていました。

司会は利重副代表で、杉原代表が本会に携わって21年間の熱い思いを挨拶で披露し、特別参加で駆けつけられた北橋健治北九州市長からは同市の環境問題における取組みの紹介があり、続いて、北九州市事務所からのアピールは、ふるさと納税についてのお願いのほか、目指せJリーグ：ニューウエーブ北九州の健闘振りが紹介されました。(下関市事務所については、乾杯の後、新任の千手職員の紹介を含めて行なわれました)。

乾杯の音頭は、本会創立当初からのメンバーである黒水恒男さん(小倉高1950年卒)で、草創期の懐かしいお話＝模擬北九州市議会を開催したこと＝を披露され、乾いた喉にビールを注いで、卓上狭しと並んだ「地域発ブランド品」を口に入れました。

今回は、遠路北九州から参加された一人ハンドベル演奏家の石井のり子さんや新内節相模派の富士松延千代さんなど初参加の方が大勢参加下さり、当クラブ歴史散策会の講師の美作ゆうこさん、日本画家(歴史人物画)の内田青虹さん等多士多才の方々も出席されて大盛況。第2回目のクイズは意外にも4問目で全員脱落。世界天文年に因んだ問題は難しかったようです。井出悠子さんご指導のシャンソンに乗った熟年ダンス、山口義夫ふるさと大使のふるさと音頭で、満員の会場には暑い夏に負けない元気な声が轟きました。参加者多数で大成功!!

提灯を309個、12段に重ねて高さ10mの光のピラミッド、戸畑山笠のビデオも鑑賞しました。

今回も会員17名の方々、両事務所及び北九州商工会議所から数多くの製品の提供を頂きました。地酒・焼酎の数々、赤白ワイン、女性専科のお菓子や湖月堂の栗饅頭のお味はいかに。豪傑達の飲みっ振りは大変見事でした。



(利重副代表が司会進行役)

土産袋の中に、団扇、「雲のうえ11号」(7月25日発行)と食の認定ブランド“百万の息吹”の小冊子を見つけました。これからゆっくり、「かんもん北九州」を味わいます。

次回の出会いは12月3日(木)開催の忘年会です。貴方のスケジュールに組み入れておいて下さい。◎今回ご協力下さった方々のご芳名を列記してお礼と感謝の意とします。

井出悠子 上釜真一 北橋健治 衣笠正人 近藤順郎 佐伯雅啓 杉原健児 利重盛久 前田昌亮 山口義夫 結城謙吾 はつもみぢ 奥野寿久商店 おいでませ山口館 東冷 ふじた＝藤田皇運社長 北九州市商工会議所 北九州市首都圏本部 井崎淳一郎

◎参加者は次の方々計60名でした。(敬称略)

安部光生 綾部隆夫 猪狩達夫 池田紘子 池田亮 井崎淳一郎 石井のり子 泉翼二 井出悠子 上釜真一 内田賢介 内田青虹 大鬼諫 仰木健次 小河浩介 鬼塚信子 甲斐秀治 川上勝 河上時彦 北橋健治 北原孝吉 衣笠正人 黒水恒男 古賀敬三 黒正浩子 小嶋伸介 児玉忠士 小西孝蔵 小林美津子 近藤順郎 佐伯雅啓 澤田和昭 七里倭子 篠原幸治 清水順子 白戸雅子 杉原健児 千手大輔 高尾修 千野美智子 利重盛久 富吉尅久 友田敦久 豊田千年 長崎新一 仲津真治 奈須野豊寿 西山忠壬 濱田庄司 林良雄 久末史代 藤城昌三 富士松延千代 伏見鐵 古屋たず子 本橋美穂 本多忠夫 前田昌亮 美作ゆう子 山口義夫 以上



(挨拶される北橋北九州市長)



(黒水さんの音頭で乾杯!)

# かんもん北九州ファンよろず案内

## <環境問題に取り組む団体紹介> 若松秋桜会

代表 久永 恵美子さん

平成4年に、若松地区緑化運動の一環として行われたひびき灘埋立地のコスモス街道のコスモスの種まきに参加したことをきっかけにボランティア活動を意識し、その2年後の平成6年に主婦50名からなるボランティアグループ「若松秋桜会」を結成しました。

当初の活動は、主に毎年11月に若松のグリーンパークでフリーマーケットを開催し、その収益で(財)国際交流協会を通じての留学生支援や地域施設への寄付をしていましたが、平成9年に地球温暖化防止京都議定書(COP3)に参加できたことがきっかけで環境問題に目覚め、それより環境問題に関する様々な運動を推進するようになりました。

環境問題への最初の取り組みが、環境省が作成した環境家計簿を利用した地球温暖化防止の推進です。国の環境家計簿は難しく使いづらかったため、団体のみんなで試行錯誤しながら、分かりやすく、一般家庭でも使い易い改訂版を作り発行しました。まず、主婦の皆さんにこの環境家計簿を通して地球環境の現状と問題を意識してもらいたいと思っています。

その後も、使用済み切手、テレカ、書き損じはがき回収やベルマーク集め、トレー・紙パックの回収箱設置などの運動もしました。現在は、廃傘布を生地として利用したマイバック運動、ペットボトルのリユース風車づくりといったリサイクル・エコロジー活動に積極的に取り組んでいます。

マイバックは、廃傘布だけでなく、古着物地やネクタイ布、使用済みのカセット、ビデオテープを材料に製作したものもあります。これらは、市販の既製品と見劣りしないほどの出来栄で、毎年エコライフステージで販売もしています。また、ペットボトル風車は、各地域の小学校や市民センターなどに出向き、その製作指導とともに地球温暖化に対する問題意識の普及に努めています。

こうした活動を続けてきたことで「地域環境保全功労賞」など数々の賞をいただきました。今後も、市民レベルでの環境問題への取り組みとして、着実に活動を継続させていくことが大切だと考えています。(文責：北九州市総務市民局地域振興課市民支援係 石川美奈子)



古傘や廃傘の布を利用したマイバックの作り方を指導



より使い易く改良した環境家計簿

## ■到津の森公園 入園者 300 万人達成 小河

7月31日、小倉北区の『到津の森公園』の入園者が300万人を達成しました。『到津の森公園』は、平成14年4月に『到津遊園』から新しく生まれ変わり、今年で約7年。最近では、「ふれあい動物園」が、全面的に新しくなって7月18日にオープン。

これまで、ヤギ・ロバのエリア、レッサーパンダ・アライグマのエリアが順次オープンし、今回は、ヤギ岩山、休憩所(ウサ・モルハウス、デッキを含む)、プレーリードッグ運動場等が完成。ヤギ岩山では、高い所が好きなヤギの習性を引き出すため岩山に丸太を渡し、その上を歩くヤギの姿をご覧いただけるほか、休憩所1階のウサ・モルハウスでは、ウサギとモルモットのふれあいを屋内でお楽しみいただけます。

## ◆伝統の味を気楽に楽しめる「春帆楼茶寮」佐伯

日清戦争の講和条約が結ばれた春帆楼は下関でも格式の高い料亭で、庶民には少々敷居が高い感じがありましたが、気楽に入れる支店ができています。

- ・場所：JR下関駅隣の大丸デパート7F 食堂街
- ・電話/FAX：083-235-8029
- ・営業時間 11:00-21:00 メニュー例(税込み)
- ・ランチタイム(11:00-14:00)  
週替御膳¥1050 鯛茶漬¥1260 茶寮弁当¥1575
- ・デザートタイム(14:00-17:00) ダベリに好適。  
料理人が作る和スイーツ/コーヒー付き¥860
- ・ディナータイム(17:00-21:00)(L.O. 20:15)  
鯛茶漬¥1260 晩酌セット(生ビール、季節の前菜4点盛、ふぐ唐揚げ)¥1575 (ふぐ刺し身付きは¥2625) 茶寮ミニ会席 ¥2100、創作会席 ¥4200

# かんもん北九州ファンよろず案内

〈会員からのメッセージ〉

## 新型インフルエンザ対策研究開発の報告

会員 古谷 信 (豊浦高 1952 年卒)



今、世界はインフルエンザの恐怖の中にあり、WHOはフェーズ6状態の警告を発しているが、私達の周囲の防御は無い。このレポートはその対策機器の開発報告である。

私は下関長府の豊浦高校昭和27年卒。同期会の愛称は学校裏の海岸で採れる小

さな巻貝「にいな」と27に掛けて「27会(にいなかい)」とした。関東在住者は毎年集まるが健康情報交換会の様相である。先日27会メンバーの平田英雄君が取得した抗菌・消臭の特許製剤の噴霧器具を新型インフルエンザ対策機器として発表する検討会に参加した。

親友の平田君は豊浦卒後ノンプロ野球の選手として山口県を代表する協和発酵に進み化学分野の仕事に携わった。退職後も研究を重ね、平成15年登録「抗菌・消臭剤」と特許を確立した。

その抗菌剤が鳥取県で発生した鳥インフルエンザに罹った鶏の大量処分した後の鶏舎の殺菌に使用され、鳥取大学の大概教授が効果を立証された。

WHOも着目し平田君は招聘され、説明訪問している。その後抗菌・消臭剤の使用は拡大して鳥取県は全県下でインフルエンザ対策として本剤を採用、さらに名古屋市交通局も地下鉄車両や市バスの抗菌・消毒に公式採用。ANAも機内消毒に使用している。また、ドラッグストアで一般家庭向きの販売も進み始めた。

本剤の特徴は塩素系の消毒剤に比べ、健康被害や残留毒素の心配がないことなどで空港では空港施設や機器の影響を与えないことが採用の際の評価となっている。今回は海外からも注目を浴びて対策器具研究開発となり、小生も平田君ともども検討会に立ち会う機会を得、喜びを共にすることができたのである。

日本国内でも新しい罹患の人も出ており、これから秋冬にかけて流行が予想され、心配であるが、積極的な対策をまだ耳にしない。今回の研究開発発表機器が浸透して公共衛生の環境を改善しインフルエンザの蔓延防止に役立つことを祈念している。このような機会を同郷の友人と共有できたことを誇りに思うと共に同郷の親友が新型インフルエンザ対策で活躍していることを知って頂きたく、報告する次第である。

### ◆郷土力士の近況

大鬼

名古屋場所で話題となった特に郷土力士幕下以下の戦績・近況をお届けします。

○ 松谷 (松が根) 幕下21枚目

築上郡築上町出身 6勝1敗

13日目に惜しくも1敗を喫した。全勝優勝も夢ではなかったが、少し緊張し過ぎたよう。駒沢大学出身。9月場所は十両昇進を期待したいが、本人は今年中の昇進が目標と至って謙虚。

○ 右肩上がり (大嶽) 三段目

山口県宇部市出身 3勝4敗

四股名を吉野より改名して評判になったが、惜しくも勝ち越せなかった。9月場所に期待しよう。

上宇部中学3年の時にスカウトされた由。

○ 福田山 (大嶽) 三段目

北九州市出身 5勝2敗

5月場所に続いて勝ち越している。期待が膨らむ。

○ 若戸大橋 (式秀) 序二段 北九州市出身

郷土を背負った四股名である。今後の活躍を期待。

◎ 琴禮 (佐渡が嶽) 十両14枚目

築上郡築上町出身 7勝8敗

前回十両昇進となったが幕尻での負け越しで幕下へ戻る可能性もあるが、これに挫けず頑張れ!

※ 幕下以下の郷土力士についての情報をお寄せ下さい。

近い将来の幕内力士の誕生を期待しましょう。

### ■同窓会総会の秋

大鬼

北九州地区高校同窓会で今秋開催予定の同窓会は下記の通り。東京地区の同窓会は各校とも年々盛んになっているとのこと。母校・郷里の懐かしい顔や話に出会える筈。参加されては如何。

○小倉南高校 (南薫会) 10月17日 (土) 13:00～ライオン銀座クラシックホール 会員: 佐田野悦子他

○東筑高校 (東京東筑会) 11月7日 (土) 14:30～オークラホテルイーストイン東京 会員: 結城 謙吾他

○戸畑中央 (東京飛幡会) 11月7日 (土) 12:00～ホテルオークラ 会員: 三浦 正壽他

○小倉商業 (紫水会) 11月14日 (土) 13:00～アサヒスーパードライ有楽町店 会員: 林 良雄他

### 《歴史講演会参加者》

49名

敬称略

赤間晋治 有田公一 井崎淳一郎 石井雅裕 泉翼二 井出悠子 井吉勇夫 伊勢本嗣治 宇田一紘 内田青虹 大岩忠三 大鬼諫 小河浩介 大塚義雄 岡田正義 小田耕治 鬼塚信子 角谷香威 加来洋二郎 加来千晶 河野裕昭 鹿野九州男 鎌田克俊 川上時彦 古賀敬三 近藤順郎 佐伯雅啓 沢田和昭 七里倭子 清水順子 白鳥吉幸 高尾修 千綿正機 佃文男 利重盛久 中川芙蓉子 長崎新一 奈須野豊寿 西山忠壬 浜田庄司 林尚孝 林良雄 原信義 船越富美 本多忠夫 前田昌亮 丸野政雄 宮坂健二 吉川徹

# かんもん北九州ファンよろず案内

## 東筑高校囲碁部健闘す

今年7月に開催された第33回全国高校囲碁選手権大会に東筑高校が福岡県代表として男女とも団体戦(各3名)に又個人戦にも各1名が出場しました。27日から29日までの3日間東京市谷の日本棋院で競った結果男子団体は7位入賞、女子団体は4位入賞を果たしました。個人戦では女子代表岸本真恵(高2)が堂々の4位入賞でした。岸本さんは昨年も個人戦で全国8位入賞しています。我々の時代に

結城 謙吾(東京東筑会幹事長)

は部自体が存在しませんでした。このような知的競技で上位を占めてくれると何故か北九州の知的レベルも高いのだと思ってしまうものです。

来年も連続出場を果たし、好成績を残すことを期待したいと思います。

(編注:本大会の山口県の男子団体の代表は下関西校で8位に入賞しています。又昨年は男子団体に小倉高校が出場し、8位に入賞しています)

## 「会報担当」「名簿担当」の交代

この度、「会報担当」が大鬼諫氏に、「名簿担当」は長崎新一氏に交代しました。今まで杉原が、両担当をしていましたが、夫々「会報委員会(委員長大鬼諫)」「会員情報管理委員会(長崎新一委員長)」として運営して参ります。

新しい担当は、慣れるまで大変と思いますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひします

なお、名簿担当交代に伴い、以下の臨時幹事会を開き「副代表の選出」と「会則改定」をしました。

### 2009年度臨時幹事会議事録(敬称略)

日時:2009年7月9日(木)/九州工大鳳龍クラブ於

出席:井崎淳一郎・井出悠子・大鬼諫・小河浩介・鬼塚信子・甲斐秀治・※川上勝・近藤順郎・佐伯雅啓・杉原健児・利重盛久・長崎新一・西山忠壬・広瀬知也。(※:委任状出席)

欠席:古賀敬三・迫田岳志・本多忠夫・前田昌亮  
議題:名簿担当の交代に伴う幹事・副代表選任と会則改定について

- 1名簿担当が、杉原健児より長崎新一氏に交代することに伴い、長崎氏を幹事・副代表に推薦したいとの提案があり、協議の結果承認された。
- 2名簿担当の長崎新一氏への交代に伴い、郵便局から送られてくる「振替受払通知票」の送付先変更、及び、名簿担当の「会費振替払出し」のために、本会の「所在地」を長崎氏方に変更する必要がある。従って、以下のように会則改定したいとの提案があり、協議の結果承認された。

北九州ファンクラブ代表 杉原 健児

<会則>第1条(名称および所在地)…「および所在地」と以下「(2)項」の追加。

(2)本会の「所在地」は、東京都世田谷区玉川4-38-18-302 長崎新一方とする。

## 名簿管理担当挨拶

会員情報管理委員長 長崎 新一

杉原代表の重荷を少しでも減らすよう、本号から名簿管理を担当しています。引継資料を見ながら、当会のみならずその他多くの会の世話人としてのお仕事の傍ら、名簿・会費管理、名簿・会員証発行等の面倒な事務を、永年に亘り、綿密に管理された杉原さんのご努力に感嘆しています。行き届かぬ面もありますが、会員情報管理を通じて当会の活性化のために工夫・努力したくよろしくお願ひします。

## 編集後記を兼ねて

会報委員長 大鬼 諫

この度、杉原代表の仕事の一部を引き継ぐことになりましたが、実際にお手伝いしてみても膨大な仕事量をこなされていたかよく判りました。まだ到底及びもつかない位、初歩段階にいる自分を実感しています。

会報は会員の皆様の参加で成り立つべき情報誌であると思います。読み易く、親しみ易い会報作りに努力しますので、今後とも宜しくご協力・ご愛読の程お願ひ申し上げますと共に多数の投稿をお待ちしています。

## 共に「元気発進! 北九州」の実現を

「かんもん北九州ファンクラブ」の皆様、貴会員の方々が弊誌『ひろば北九州』の「東京だより」欄にご執筆いただくようになって、はや18年になります。毎号、ふるさとへの熱い思いを寄せていただき、編集部も元気と勇気をいただけてきました。

弊誌が「東京だより」を初めて掲載したのは1991年3月号です。記念すべきトップバッターの一人はファンクラブの代表杉原健児さんです。タイトルも初回のみ「ひたぶるふるさと東京だより」と、KK地

(財)北州市芸術文化振興財団「ひろば北九州」編集部への一途な思いが表現されていました。

『ひろば北九州』は地元で、「かんもん北九州ファンクラブ」は関東で、活動する場所こそ異なりますが、同じ目標を目指しています。共に「元気発進! 北九州」を実現しましょう。

なお、今回はご好意により『ひろば北九州』購読会員の勧誘チラシを同封させて頂きました。皆様のご加入を編集部一同お待ちしております。

引き続き「東京だより」を宜しくお願ひします。